

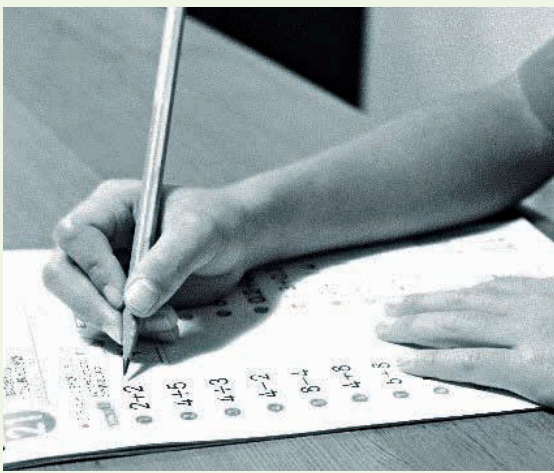


家庭での取り組み

家庭教育は、すべての教育の出発点です。

子どもは、家族との触れ合いを通して、基本的な生活習慣や豊かな心、他人に対する思いやりや善悪の判断、社会的なマナー、自制心や自立心などの「生きる力」を身に付けていきます。

子どもの教育に対して、家庭が本来、果たすべき役割を見つめ直していく必要があります。親は、これからの社会を生きる子どもにとって、何が重要でどのような資質や能力を身に付けていけばよいのかについて、深く考えていくことが求められています。



◆学ぶことの楽しさを教えましょう

学ぶことが、子どもたち自身の将来にとって役に立つことを感じてもらう、学び続ける子どもを育てていくことが重要です。そのために、家庭では、学ぶこと・知ることの楽しさを教えていきましょう。また、家庭学習は、毎日続けていくことが大事です。そのため、学習に集中できる環境をつくりましょう。

◆生活リズムを整えましょう

基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の一つの要因となります。子どもたちが健やかに成長していくためには、適切な運動、バランスのとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣を身に付けましょう。

◆家庭でのコミュニケーションを大切に

親子のふれあいは、子どもに精神的なやすらぎを与えます。
毎日、子どもと積極的に会話し、悩みや交友関係、学校生活での出来事等について、日ごろから親子の会話を楽しみましょう。